

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
ブライダルサービス論	2	前期	2	学科専門・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(とくだ、とがし、たじま) 徳田、富樫、田島(真)	授業支援システム:ユニブルー ブを活用します			

(英文科目名 Theory of Bridal Service Design)

授業の概要

講義は全体を 3 つの段階に区分して学修を進めます。第 1 段階はブライダルの基本的な知識や歴史などの講義を受けます。第 2 段階として、ケース教材を用いて具体的な知識の活用やシチュエーション別に、ブライダルとブライダル・サービスのポイントを身に付けます。そして、第 3 段階としてブライダル・サービスにおけるホスピタリティの実現をテーマとして、ケース教材を用いてグループでサービス・デザインの手法を使ったブライダル・サービスをプランニングして、最後のその企画内容のプレゼンを行っていただきます。

科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラムポリシー(3)、すなわち、実践的で柔軟な専門性を習得することを支援することを目的とした専門コース科目です。専門コース科目のうち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの 2 年次配当の専門科目です。体験だけでは偏りがちな知識やスキルを理論的な側面から学び、他の学習者との話し合いの中から自分ひとりではたどり着けなかった理解を得ることをねらいとしています。

ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1) 知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	◎	ブライダルの歴史や、日本と世界のブライダルのしきたり、習慣、価値観などを比較し、ブライダルの共通性と宗教、地域やスタイルの異質性を学び、ブライダル・サービスの現代的意味を説明できる。
(2) 汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。	○	ケース教材を通じて、ブライダル・サービスを理解し討議できる。
(3) 態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。	○	ブライダルホスピタリティの実現をサービス・デザインの視点から理解し、表現することができる。
(4) 総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。		

授業の方法・講義手法の概要

講義及び演習(ケース学修、グループワークによるディスカッションとプレゼンテーション)

授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修/事後学修
1	シラバス授業/ブライダルの基礎(結婚の意義と要件)	事前学修:シラバスを読む+ブライダルのについての関連情報を調べる(90

		分) 事後学修:結婚の意義に関する課題レポート(90分)
2	ブライダルの歴史と文化	事前学修:ブライダルの歴史と文化について調べる(90分) 事後学修:ブライダルの歴史と文化に関する課題レポート(90分)
3	ブライダル・ビジネスの理解(市場・業種・関連業種等)	事前学修:ブライダル市場について調べる(90分) 事後学修:集客システムについての課題レポート(90分)
4	ブライダル・サービスの基礎とサービス・デザイン	事前学修:挙式スタイルについて調べる(90分) 事後学修:挙式の5要素とサービスについての課題レポート(90分)
5	ケース学修とディスカッション(コーディネーター業務)	事前学修:ケース教材を読んで設問を考えてくる(90分) 事後学修:コーディネーター業務に関する課題レポート(90分)
6	ケース学修とディスカッション(打合せ業務・コンセプトの作成)	事前学修:ケース教材を読んで設問を考えてくる(90分) 事後学修:コンセプトに基づくのサービス・デザインに関する課題レポート(90分)
7	ケース学修とディスカッション(コンセプトシートの提案とブライダル・アイテムの選定)	事前学修:ケース教材を読んで設問を考えてくる(90分) 事後学修:全体コーディネートに関する課題レポート(90分)
8	ケース学修 ブライダル・サービスとホスピタリティ(1)	事前学修:ケース教材を読んで設問を考えてくる(90分) 事後学修:当日のコーディネーターの役割に関する課題レポート(90分)
9	ケース学修 ブライダル・サービスとホスピタリティ(2)	事前学修:ケース教材を読んで設問を考えてくる(90分) 事後学修:当日のコーディネーターの役割に関する課題レポート(90分)
10	グループワーク:ブライダルサービスデザイン(1)	事前学修:ケース教材(打合せ)を読んで、プランニングを考えてくる(90分) 事後学修:チームで話し合った結果と自らのプランに反映させプランを作成する(90分)
11	グループワーク:ブライダルサービスデザイン(2)	事前学修:ケース教材(コンセプトシート)を読んで、プランニングを考えてくる(90分) 事後学修:チームで話し合った結果を自らのプランに反映させたプランを作成する(90分)
12	グループワーク:ブライダルサービスデザイン(3)	事前学修:ケース教材(打合せ+コンセプトシート)を読んで、プランニングを

		考えてくる(90分) 事後学修: チームで話し合った結果を自らのプランに反させてプランを作成する(90分)
13	グループワーク:ブライダルサービスデザイン(4)	事前学修: ケース教材(当日業務)を読んで、課題への対応を考えてくる(90分) 事後学修: チームで話し合った結果と考慮して、課題レポートを作成する(90分)
14	グループ・ワーク(ブライダルホスピタリティの果たす役割)	事前学修: 第10回から13回までのチームで話し合った結果をまとめてくる(90分) 事後学修: ブライダルホスピタリティの観点から報告プレゼンテーションを作成する(90分)
15	グループ・プレゼンテーション(報告会)	事前学修: 報告プレゼンテーションを作成する(90分) 事後学修: ブライダルホスピタリティに関するまとめ課題レポート(90分)

成績評価の方法・基準

成績評価は、課題・レポート(50%)、報告会(30%)、グループワーク等での参加度(20%)により総合的に評価します。

指定教科書・参考文献等

参考文献等は授業内で適宜紹介します

履修上の留意点

事前学修に記載の通り、講義の対象となるブライダル・サービス内容やケース教材を調べてくることを前提として講義を行います。またレポート課題を講義毎に課します。

実務経験